

平成 24 年度第 9 回治験審査委員会 会議の記録の概要

開催日時	平成24年 12月 26日 (水) 17:15～17:45
開催場所	市立砺波総合病院 第4会議室
出席委員名	清原 薫、小西 道雄、白石 浩一、湯上 徹、松原 直美、永森 耕治 竹林 秀明、高畑 英信、吉原 節夫、藤澤 まゆみ
議題及び審議結果を含む主要議論の概要	<p>【審議事項】</p> <p>議題① アステラス製薬株式会社の依頼による関節リウマチを対象としたCDP870のMTX非併用時の長期継続投与試験</p> <p>当該治験薬で発生した重篤な副作用について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。</p> <p>審議結果：承認</p> <p>議題② アステラス製薬株式会社の依頼によるMTX未治療の早期関節リウマチ患者を対象としたCDP870の第Ⅲ相検証試験</p> <p>当該治験薬で発生した重篤な副作用について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。</p> <p>審議結果：承認</p> <p>議題③ ユーシービージャパン株式会社の依頼による関節リウマチを対象としたCDP6038の第Ⅱ相試験</p> <p>当該治験薬で発生した重篤な副作用について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。</p> <p>審議結果：承認</p> <p>議題④ ユーシービージャパン株式会社の依頼による関節リウマチを対象としたCDP6038の第Ⅱ相継続投与試験</p> <p>当該治験薬で発生した重篤な副作用について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。</p> <p>審議結果：承認</p>

- 議題⑤ 武田薬品工業株式会社の依頼によるNSAID長期投与時の胃潰瘍又は十二指腸潰瘍の再発抑制における、TAK-438の第Ⅲ相比較試験
当該治験薬で発生した重篤な副作用について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
審議結果：承認
- 議題⑥ 武田薬品工業株式会社の依頼によるNSAID長期投与時の胃潰瘍又は十二指腸潰瘍の再発抑制における、TAK-438の第Ⅲ相長期継続投与試験
当該治験薬で発生した重篤な副作用について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
審議結果：承認
- 議題⑦ 武田薬品工業株式会社の依頼による低用量アスピリン長期投与時の胃潰瘍又は十二指腸潰瘍の再発抑制における、TAK-438の第Ⅲ相比較試験
以下のことについて、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
a 当該治験薬で発生した重篤な副作用
b 重篤な有害事象に関する報告（第1報）
審議結果：承認
- 議題⑧ 武田薬品工業株式会社の依頼による低用量アスピリン長期投与時の胃潰瘍又は十二指腸潰瘍の再発抑制における、TAK-438の第Ⅲ相長期継続投与試験
当該治験薬で発生した重篤な副作用について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
審議結果：承認
- 議題⑨ 旭化成ファーマ株式会社の依頼による原発性骨粗鬆症を対象としたAK156の第Ⅲ相試験
以下のことについて、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
a 当該治験薬で発生した重篤な副作用
b 実施状況報告（継続審査）
審議結果：承認
- 議題⑩ 日本イーライリリー株式会社の依頼による大腿骨頸部骨折治癒に対するテリパラチドの第Ⅲ相試験
以下のことについて、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。また、治験実施計画書別冊治験実施体制の変更が報告された。
a 当該治験薬で発生した重篤な副作用
b 実施状況報告（継続審査）
審議結果：承認

	<p>議題⑪ ファイザー株式会社の依頼による乾癬患者を対象としたCP-690,550の第Ⅲ相試験 当該治験薬で発生した重篤な副作用について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 審議結果：承認</p> <p>議題⑫ 心房細動新規診断男女患者を対象とした多施設共同国際登録前向き試験 実施計画書、同意説明文書の変更について、試験を継続して行うことの妥当性について審議した。 審議結果：承認</p> <p>議題⑬ トラゼンタ錠5mg特定使用成績調査(長期使用に関する調査) 薬事委員会委員長からの審査依頼により、調査実施の妥当性について審議した。 審議結果：承認</p>
特記事項	